

『ありのままに自分らしく』互いに認め合える学校園所をめざして ～性の多様性について考える～



とひつな せつこ
登日綱 勢津子さん

新聞やテレビで見聞きすることが増えてきたLGBTQ+。
令和5年6月23日に国は、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」を施行しました。性的マイノリティの人々は非常に身近な存在ですが、偏見・差別を恐れてカミングアウトできないため、身近な人が性的マイノリティであることに気づきにくいものであります。
複数の民間調査によれば、性的マイノリティの人々は8～9%という調査結果もあり、学校では35人クラスに3人の割合で、決して少なくありません。
今回は登日綱勢津子さんから性の多様性に関するお話や互いに認め合える学校園所について、お話していただきます。

とひつな せつこ 登日綱 勢津子さんプロフィール

- ・元宝塚市立小学校長・宝塚市人権教育指導員・法務省 人権擁護委員、LGBTQ+支援団体 ミリオンベル@たからづか事務局長、『ありのままに自分らしく』互いに認め合える学校園所を目指して～性の多様性について考える～保育士、教師のための授業書（2024年）を作成。
- ・現在、教職員とともに宝塚市の部落差別問題学習の作成に関わっている。

開催日：令和7(2025)年

10月30日 木

場 所：伊丹市総合教育センター 2F 研修室
Webex（オンライン配信）あり

申込み：電話・072-784-8077（平日9時～17時30分まで）

スマート申請



※Webexをご希望の方は、スマート申請からお申込みください。スマート申請の登録がまだの方は左のQRコードからでも新規登録が可能です。
「申請の完了案内」に、当日の研修参加に必要なURLとパスワードを記載しています。（画面コピーか印刷をして保存し、当日参加してください。）
なお、お電話でのURLのお伝えはできませんので、ご了承をお願いいたします。

時 間：15時30分から16時45分

定 員：20名

（当日お席に余裕がある場合、当日参加も可能です。）

締切り：10月24日 金

電話・スマート申請：17時30分まで

